

# すみかわ地区センターだより 第218号

札幌市すみかわ地区センター運営委員会

南区澄川4条4丁目4-40

令和7年5月23日発行

TEL 818-3035

FAX 818-3036

アドレス <https://www.sumikawa-chikuceneter.jp> (英数小文字)

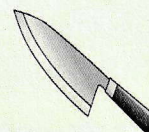
## 出張講座のお知らせ

### 包丁研ぎ教室 7月3日(木)開催

in すみかわ地区センター

「リサイクルプラザ宮の沢」との共催にて、昨年に引き続き3回目となります出張講座「包丁研ぎ教室」が当センターにて開催されます。包丁の研ぎ方を講義と実技を通して学ぶことができます。マイ包丁を手入れして、永く大切に使いたい方には絶好の機会です。受付日に下記リサイクルプラザへ電話でお申し込みください！

1. 日 時 : 7月3日(木) 1回目:11:00~12:00 2回目:13:00~14:00
2. 定 員 : 各回5名(先着) \* 希望されるどちらかの時間を選んで電話ください
3. 参加費 : 一人300円(当日持参)
4. 持ち物 : 包丁1本(ステンレス製か鋼製)、エプロン、雑巾2枚、  
ビニル袋(濡れた雑巾を持ち帰る袋)
5. 受付日 : 6月11日(水)10:00より受付 \* 短時間で定員に達する傾向あり
6. 申込先 : リサイクルプラザ宮の沢 電話 **671-4153**



## 落語会のお知らせ 6月28日(土)開催 in すみかわ地区センター

澄川地区連合会文化部と澄川地区老人クラブ連合会の共催で、澄川地区の皆様方に素敵な演芸会のプレゼントです。概要を下記に記しておきます。詳細やお問い合わせは「澄川まちづくりセンター」にお願いします。当日は、多くの皆様方のご来場をお待ち申し上げます。

1. 日 時 : 6月28日(土) 午後2時~4時 \* 開場は1時20分頃(予定)
2. 出演者 : 林家とんでん平(道内出身落語家)他 落笑会メンバー
3. 入場料 : 無料 \* 予約なし、当日直接会場へお越しください
4. 問合先 : 澄川まちづくりセンター 電話:011-821-8585



## 将棋はいかがですか？！

当センターにおける施設活用事業(無料開放)実施日を毎回便りの裏面に記していますが、将棋で利用される方がコロナ禍以後戻ってきません。隔週日曜日の午後(月2回程度)に行っていますのでご利用ください。

和室を提供しており、4面(8人)将棋を楽しむことができます。ご家族や親子、ご友人等お誘いあわせの上、将棋を楽しむ場としてご利用いただけます。ぜひどうぞ！



2021年眞島様より寄贈のこいのぼり5年目の春を泳ぐ



## 6月の施設活用事業（無料開放）のお知らせ

ファミリー卓球	開放日	1日、15日（日）	13:00～17:00
ファミリーバドミントン	開放日	22日（日）	13:00～17:00
一般卓球	開放日	4日、18日（水）	18:00～20:30
一般バドミントン	開放日	11日、25日（水）	18:00～20:30
一般囲碁	開放日	3日、10日、17日、24日（火）	13:00～17:00
一般将棋	開放日	1日、15日（日）	13:00～17:00

6月の施設活用事業（無料開放）は上記の通り予定しています。ご利用ください。

「ファミリー卓球」「ファミリーバドミントン」については、隔週の日曜日に実施します。ファミリー限定ですので、利用者に混乱がみられる場合は、家族確認をさせていただきますのでご了承ください。

一般の「卓球」「バドミントン」は4月より再開し隔週水曜日の夜間に実施していきます。基本的にチームや団体でのご利用はご遠慮いただいております。ご家族・ご友人同士の4名以内でのご利用をお願いします。

「囲碁」は毎週火曜日の午後、「将棋」は日曜日の午後です。お越しく下さい。

いずれの施設活用事業（無料開放）も一般利用が入った場合は中止になることがあります。変更や中止の場合は、原則2週間前までにHPでお知らせします。確認のお問い合わせをいただいての来館が間違いのないかと思います。また、ご利用の際には「利用者名簿」へのご記入をお願いしておりますのでご協力ください。

< 館長 >

## 子育て広場 3月20日（祝）

昨年に引続き2回目となる「子育て広場」が開催され、7組17名の親子が来館しての遊びの場となりました。澄川地域3箇所毎月2回ずつ開催されている子育てサロンの指導員も応援に駆けつけてくださり楽しいひと時でした。参加して下さった親御さん、子育て頑張りましょう。応援しています。



## 札幌市すみかわ地区センターコラム 2025

5月の連休後半に道東へドライブしてきました。上湧別のチューリップも東藻琴の芝桜もまだ開花には早く、オホーツクの春はまだ先のようでした。

釧路郊外に「釧路市動物園」があります。日本で一番東に位置し最大の敷地を有しながらも小さな動物園です。門をくぐりすぐに展示されていたのは「丹頂」でした。「さすが鶴からのスタートか」と思いながらよく見ると両足はなんと「義足」でした。見れば見るほど熱いものが込みあげるのを感じながら、十数年前に障害を持ったアムールトラが誕生し飼育員の必死の努力で育った「タイガとココア」のドキュメンタリー報道を思い出しました。

「そうだ、ここにいたんだ！」急いで奥のトラ飼育舎へ走るとそこには献花台が設けられ多くの寄せ書きや激励文等が載せられていました。タイガも母親も亡くなり、今は「ココア」一頭が動かない後ろ足と共に残りの生命を燃やし続けています。50年振りに何気なく訪れた田舎の動物園で、都会の華やかな動物園とは違う新たな発見と感動を覚えたのでした。「こんな動物園があってもいいんだな」と思いながら・・・

皆様の連休はいかがでしたか。これからが本格的な行楽・お祭りシーズンです。可能な限りいろいろと出掛けてみたいものですね。新たな発見や感動があるかも知れません。

<n. hoshi>